

女性用トイレ行列解消の取組 施設事例集

内閣府男女共同参画局

施設一覧

施設分類	施設名	ページ 番号
競技場	国立競技場	3
	広島サッカースタジアム（エディオンピースウイング広島）	4
アリーナ	IGアリーナ（愛知国際アリーナ）	5
劇場ホール	国立能楽堂	6
	新国立劇場	7
	宝塚大劇場・宝塚バウホール	8
	PARCO劇場	9
	東京ガーデンシアター	10
	御園座	11
コンベンション施設	熊本城ホール	12
	群馬コンベンションセンター(Gメッセ群馬)	13
	飛騨・世界生活文化センター	14
商業施設	渋谷ヒカリエ ShinQs	15
	ジョイナス	16
	大丸東京店	17
大規模イベント	三井アウトレットパーク木更津	18
	大阪・関西万博	19
	全国花火競技大会 「大曲の花火」	20
	鳥取港重要港湾指定50周年記念 鳥取港福フェス	21
	長岡まつり大花火大会	22

施設分類	施設名	ページ 番号
道の駅	あ・ら・伊達な道の駅	23
空港	羽田空港第1、2ターミナルビル	24
	那覇空港旅客ターミナルビル	25
旅客船ターミナル	広島港クルーズターミナル	26
	宮島口旅客ターミナル	27
鉄道駅	JR東海 新大阪駅	28
	JR西日本 大阪駅	29
	JR東日本 東京駅	30
	東京メトロ 表参道駅	31
	東京メトロ 銀座駅	32
バスターミナル	熊本桜町バスターミナル	33
	広島バスセンター	34
高速道路	東北自動車道 佐野SA（下り線）	35
地方公共団体等における取組	TOKYOトイレマップ	36
その他の事例	高松空港旅客ターミナルビル	38
	福岡空港国際線旅客ターミナルビル	39

課題

- ・観客の殆どを女性が占める音楽イベントにおいて、女性用トイレの不足が発生することが予想される。

対策

- ・男性用トイレのサインをロールスクリーンを用いて切り替え、女性用トイレとして使用することが可能。
- ・切替可能なトイレが66か所設置されており、女性用トイレの個数を780から最大で1,120まで増やせる。



切り替え前



切り替え中



切り替え後

課題

- ・サンフレッチェ広島の旧ホームスタジアムでは、サッカーの試合時において、ハーフタイムや試合終了後に観客が一斉にトイレへ行き、混雑する状況があった。
- ▶ 新スタジアムの基本計画の段階で、観客が一斉にトイレを利用する状況を想定し、混雑緩和のための方策を検討

対策

- ①フラッグランプ設置で空き状況の見える化
扉が閉まると青色から赤色に変化



- ③トイレ内動線を一方通行にして、
出入口の混雑を解消



入口



出口

- ②洗面台前に鏡を設けず、
別途、鏡付き化粧コーナーを設け、室内滞留を解消



洗面台



化粧コーナー

- ④イベントによって男性用トイレを
女性用トイレとして利用（ロールスクリーン）

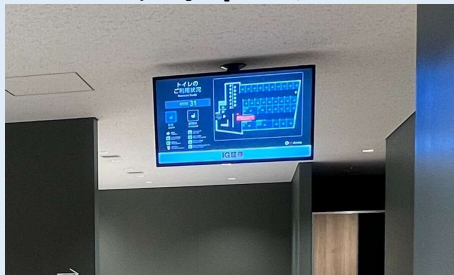


課題

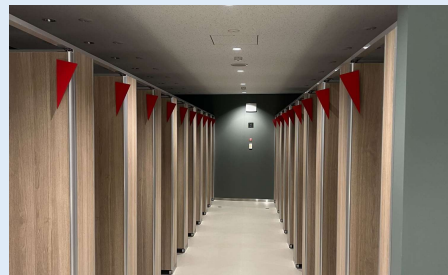
- ・ブースの多設置による空きブースの視認のしにくさ。
- ・イベント内容による利用者の男女比率の偏りによるブースの不足。
- ・利用者の動線の交錯による混雑。

対策

① 空き個室の見える化 サイネージ

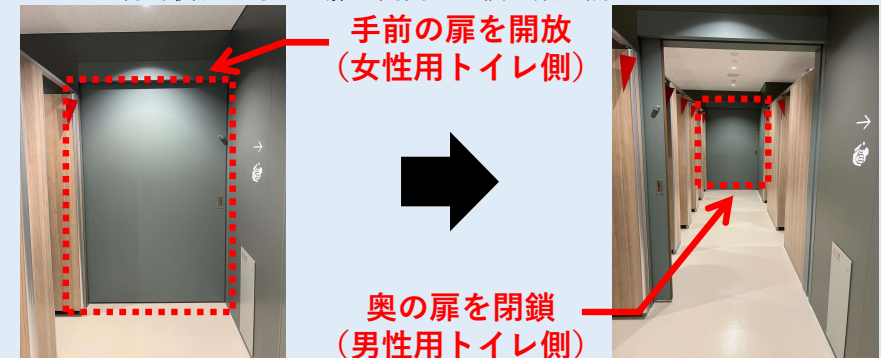


扉に空き表示

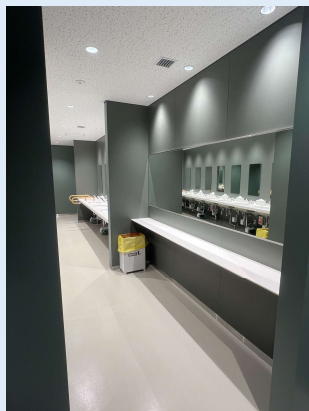


② 一部、男性用トイレを女性用トイレに転用

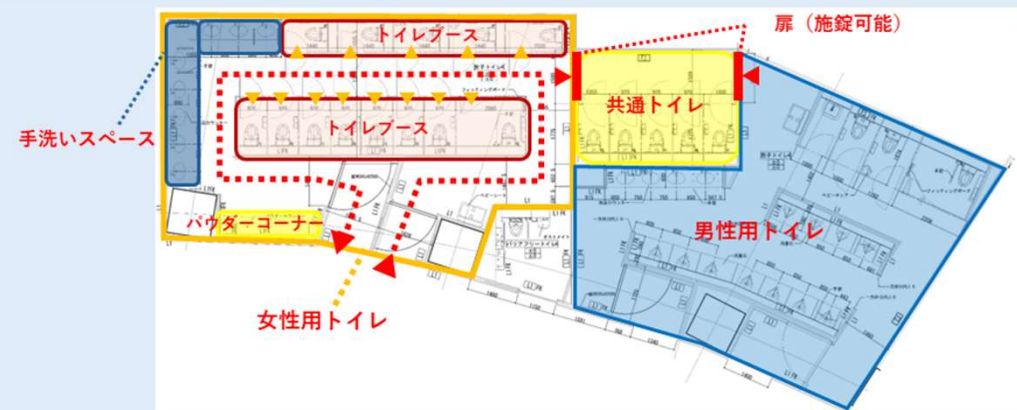
※女性用トイレと男性用トイレの境界に複数の間仕切り扉を設け共通トイレとし、イベントや利用状況に応じて扉を開閉して個室数を調整



③ パウダーコーナーを手洗いスペースとは別途設置



④ トイレ内の動線の一方方向化



課題

- ・公演の休憩時間及び終演後に女性用トイレが一時的に列を作る。

対策

- ①休憩時間は女性用トイレに行列ができる場合があるため、事前にトイレを済ませておくよう、開演前にアナウンスを行っている。
- ②一時的な行列発生時は、劇場案内係がお客様に積極的に声をかけ、行列の整理をするとともに、トイレ内に立って空きブースへの誘導を実施。
- ③貸切公演などでお客様の大半が女性であることが予想される場合は、あらかじめ複数ある男性用トイレの1箇所を女性用トイレに変更。

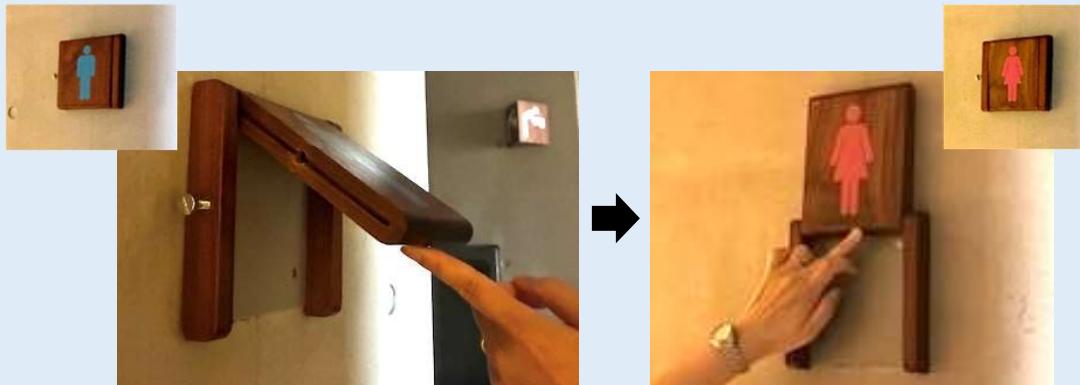


課題

- ・ピーク時間帯（休憩時間）には列ができ、数分の待ち時間が発生。

対策

- ①女性用トイレと男性用トイレの入口サインを切替可能なものとする事で、利用状況に応じて個室数を調整。



- ②各女性用トイレの個室数の案内表示を掲出。



- ③スタッフ間で各階のトイレ混雑状況を無線機で共有し、比較的空いているトイレへ誘導する声かけを実施。
- ④スタッフが各階のトイレ混雑状況を把握して支配人に伝達し、休憩中に並び列が解消しない見込みであれば、開演時間を遅らせる場合もある。

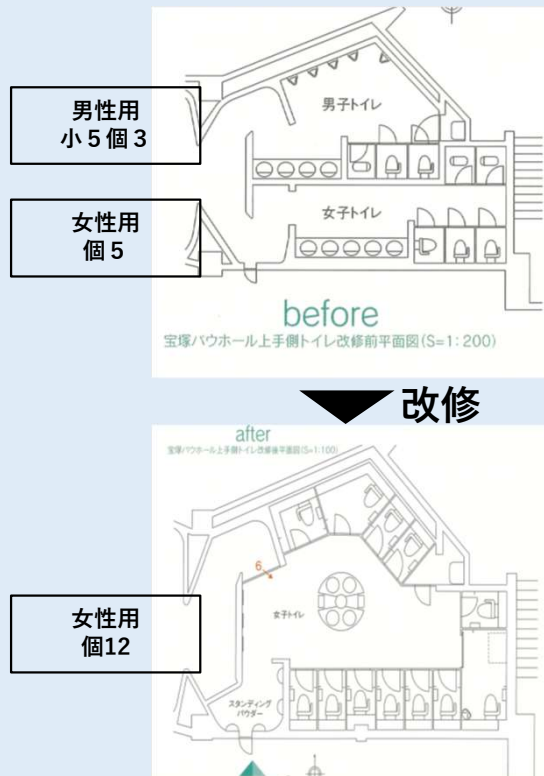
課題

- ・ 舞台幕間の30分の休憩中、女性用トイレにおいて長い行列ができた。
- ・ 休憩終了間際になっても行列が解消しなかったため、混雑緩和の方策を検討。

対策

① トイレの転換

男性用トイレの一部を廃止
⇒女性用トイレに変更



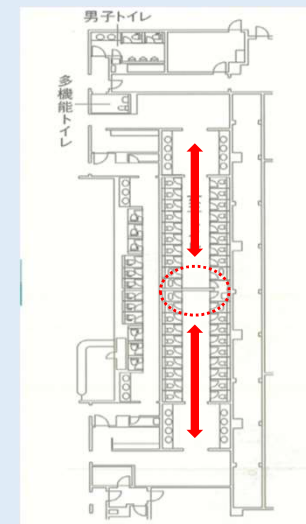
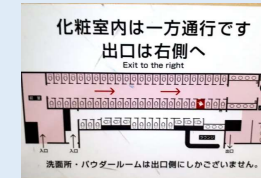
② 空室サイン

個室の扉上部に
フラッグ型サインを設置
⇒空室を可視化

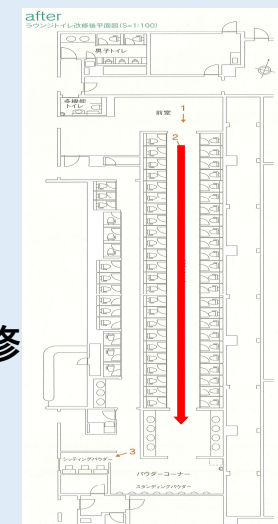


③ 一方通行化

2か所あった既存の女性用トイレを、
間仕切りの撤去により一方通行としたことで
動線を整理
⇒利用者の流れがスムーズ



改修



課題

- ・施設が狭かったこともあり、客席内壁沿いに待機列発生。同じ商業施設内で他階も案内。
- ・建替後、キャパシティが約1.5倍になるため混雑想定（最大収容人数：建替前約458人⇒建替後636人）。
- ・演劇鑑賞者が圧倒的に女性が多い傾向にあり、今後もこの傾向が続くと思われた。
- ・個室が少なかった。 ・個室での化粧直し。

対策

- ①女性用トイレの個室増設
- ②一方通行化
- ③パウダーコーナー新設

男女トイレ見取図



女性用トイレ出口



女性用トイレ入口案内

女性用トイレ出入口
見取り図

- ④休憩時は列が出来ることを想定し、列整理のための係員配置や状況報告
- ⑤適宜、施設内の別のトイレの案内
- ⑥混雑時、個室での化粧等、長時間使用を遠慮いただくよう声かけ

課題

- 施設側と施工業者が、計画段階で他施設の見学・ヒアリングを行い、以下の課題を把握。
 - ・休憩を挟むイベントの場合、休憩中に来場者がトイレへ殺到し混雑
 - ・開場～開演の時間にかけて、イベント来場者がトイレへ殺到し混雑
- 課題を設計に反映させ、「大多数の公演において、混雑を発生させない、発生しない」施設にした。

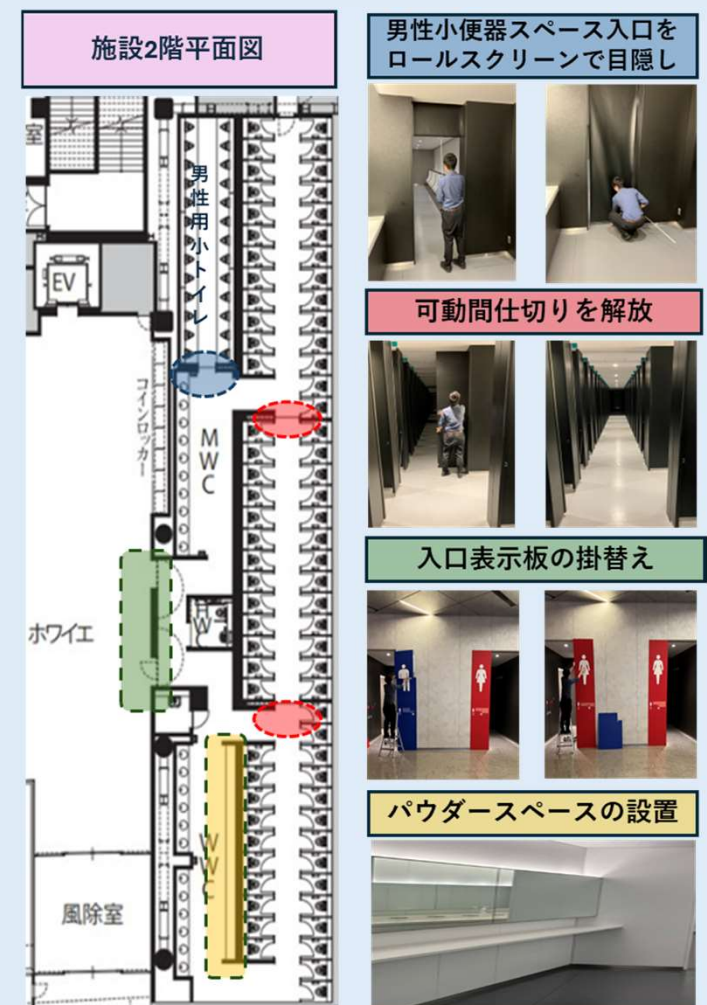
対策

①イベントの性質に合わせて、トイレ個室の男女比を変更

- ・2か所の可動間仕切りにより、段階的に増減可能
- ・可動間仕切りの解放により、男性用トイレを女性用トイレへ転用（女性トイレ：通常176個 ⇒ 最大244個）

※施設利用者から公演の詳細情報について事前にヒアリングし、「増減」や「転用」の提案を行う

②パウダースペースを別途設置



課題

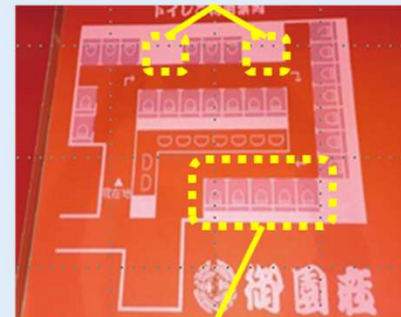
- ・公演の休憩時間にトイレ利用が集中。

対策

- ①一方通行の案内表示
- ②パウダールームと手洗い場を分離して設置
- ③ 1階女性用トイレ
改築時、個室増のために回廊にしたことで、
入口での満空室の識別が難しくなり
「ご利用者誘導システム」を導入
(A)トイレ入口付近の床面にトイレ利用状況を表示
(B)トイレ通路の床面に一方通行を促す誘導表示を投影し、
利用可能なトイレ個室までのスムーズな案内
- ④ 2階女性用トイレ
個室の扉に「空室カード」を取り付けることによる
「満空案内表示」でトイレ利用状況を識別可能に

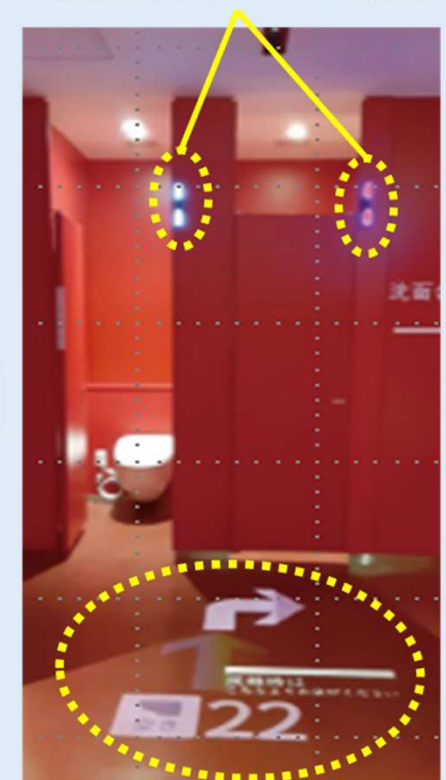
1階女性用トイレ「ご利用者誘導システム」

(A)トイレ入口付近の床面投影
利用がない場合、薄赤色で表示



使用中のブースを濃赤色で強調

(B)トイレ通路付近の誘導表示
使用状況をランプの色で識別



2階女性用トイレ「満空表示」

扉の「空室カード」で満空表示



進行方向を壁面に表示

進行方向、空室数を床に投影

課題

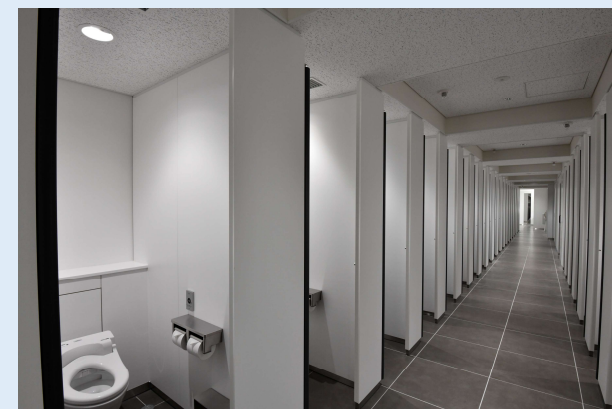
- ・施設整備基本計画の策定時より、施設の規模、想定利用者数から必要な数を検討。
- ・各種イベントや学会主催者、MICEアンバサダーからのヒアリング等を実施の上、設計した。

対策

- ①各フロアの規模に対して数多くのトイレを設置。
(男性用：171（個室59含む）、女性用：194)
- ②2,304席を有するメインホールには、
合計123室の女性用トイレや専用のパウダールームの設置。
- ③一部フロアでは、可動式間仕切りで男女のトイレ数を調整可能。

部屋	男性用	女性用	多目的	共用	合計
展示ホール	27	28	2		57
シビックホール エントランスロビー	21	21	3	5	50
会議室	17	21	2		40
メインホール	105	123	6	3	237
その他（B1・M3）	1	1		1	3
合計	171	194	13	9	387

<メインホール 女性用トイレ>



課題

- ・ イベント毎に参加者の男女比率が大きく異なり、利用状況が偏る。
- ・ 休憩時間に女性用トイレが混雑。
- ・ 特に参加者が女性中心のイベント開催で女性用トイレに行列が発生。⇒ 柔軟に対応できる施設設計が必要。

対策

- ① 女性用トイレと男性用トイレの境に「ランニングウォール」（可動式間仕切り壁）設置
男女のトイレの個室数を状況に応じて変更可能 ※男女別個室134個のうち57個を男性用・女性用に変更可能



- ② イベントによっては、主催者判断で男性用トイレを女性用トイレとして開放する運用も実施
- ③ 掲示板などのサインでトイレ案内、スタッフによる誘導

課題

- ・ 大規模コンベンション・イベント開催時に、「コンベンションホール」、「芸術堂」等各棟に設置するトイレだけでは不足することが見込まれた。

対策

- ①施設のすべての棟（建物）に繋がる「エントランス棟」に、女性個室を多数設置。
- ②大規模イベント開催時に「コンベンションホール」のトイレに係員を配置し、共通スペースのトイレへ誘導することで混雑を緩和。

B1F



1F



男(小+個室)/女性

課題

- ・ 2022年～、トイレ混雑抑止サービス”AirKnock”(バカン社)を導入。
- ・ 突発的、一時的な混雑（特に女性用）については、完全に解消ができていないため、さらなる対応が必要。

対策

- ①各フロアのトイレ入口に、
「トイレ空き状況確認サービス」サイト
閲覧用QRコードを掲示。
(全館のトイレの「空き状況確認」が可能)

トイレ入口



- ②館内フロアマップ掲示場所に、
①と同様のQRコードを掲示。
(サイトで全館のトイレの空き状況を確認の上、
館内の「空きトイレ」に、スムーズな移動が可能)

館内フロアマップ掲示場所

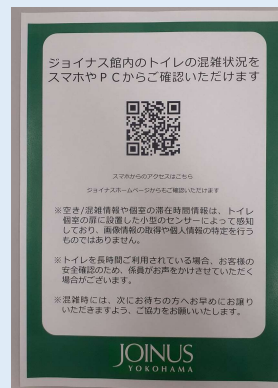
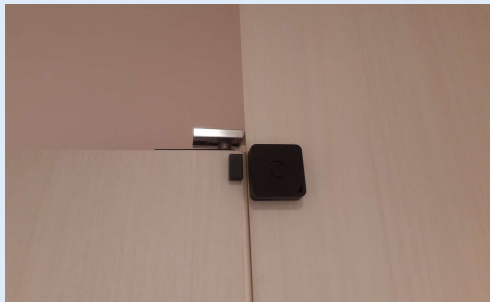


課題

- ・ 駅直結の施設のため流動客数が多く、人通りの多い場所に近いトイレは常に混雑している。
- ・ おそらくトイレの個室でスマホの利用などをしていると考えられ、個室の利用時間が長期化している。

対策

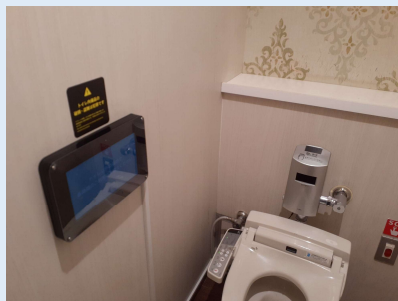
- ①扉の開閉をセンサーが検知し、バカン社サーバーへ送られ、お客様はQRコードを読み込むことで、スマホで混雑状況を確認出来る。ジョイナスHPからも確認可能。



ジョイナス
《施設の空き状況》

女性		
4F au前	利用可能 ①	個室数 8
3F Francfranc 横	利用可能 ①	個室数 5
2F B2ndF	混雑	残り個室 1/6
1F	利用可能 ①	個室数 5
B1F 横通り	利用可能 ①	個室数 4
B1F 横通り	混雑	残り個室 1/5

- ②個室にモニターを設置し、滞在時間を表示することで自主的な退出を促す。



課題

- ・ 東京駅に隣接した立地にあり、入店客数が多い。
- ・ 入館後、最寄りとなる地下1階・2階の女性用トイレの待ち時間が長くなり、入館者にストレスをかけている状態にあり、店舗に苦情が入るケースがあった（2017年時点）。

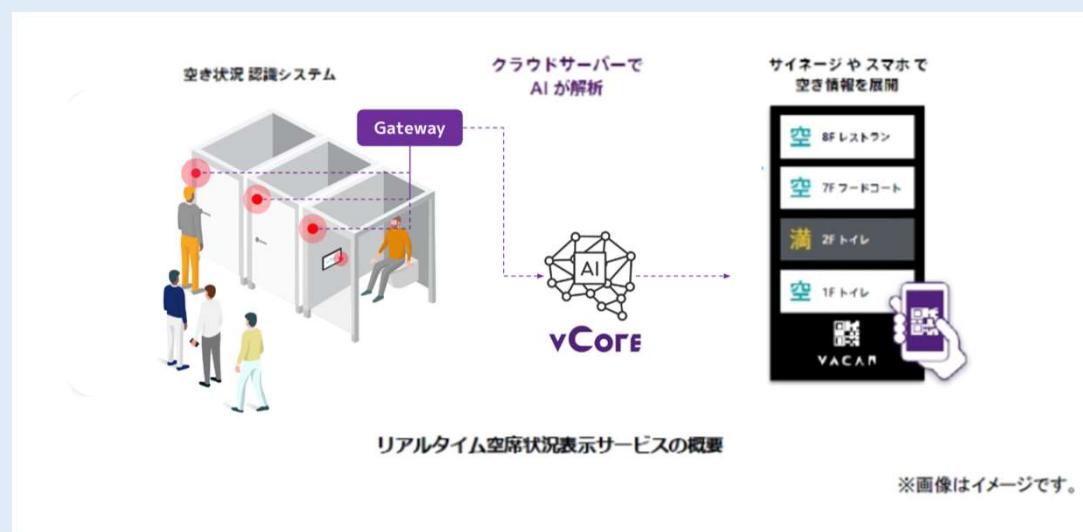
対策

- ① デジタル技術を活用した「トイレ」の空室表示サービスを導入。
各階設置のデジタルサイネージ、及び入館者の持つ携帯端末（スマートフォン等）で「空室あり」か「満室」なのかを確認が可能。

大丸東京店 化粧室の空き状況

婦人化粧室		紳士化粧室	
12F 八重洲側 空 残り 3/5	12F 丸の内側 満 残り 0/4	12F 八重洲側 空 残り 3/2	12F 丸の内側 空 残り 1/2
11F 八重洲側 空 残り 4/7	10F 八重洲側 空 残り 7/7	11F 八重洲側 空 残り 3/3	10F 八重洲側 空 残り 3/3
9F 八重洲側 空 残り 6/7	8F 八重洲側 空 残り 6/7	9F 八重洲側 空 残り 3/3	8F 八重洲側 空 残り 3/4
7F 八重洲側 空 残り 7/7	6F 八重洲側 空 残り 7/7	7F 八重洲側 空 残り 4/4	6F 八重洲側 空 残り 3/3
5F 八重洲側 空 残り 6/7	4F 八重洲側 空 残り 6/7	5F 八重洲側 空 残り 3/3	4F 八重洲側 空 残り 3/3
3F 八重洲側 空 残り 8/8	2F 八重洲側 満 残り 0/5	3F 八重洲側 満 残り 0/1	2F 八重洲側 空 残り 2/2
B1F 丸の内側 空 残り 2/7		B1F 丸の内側 空 残り 2/2	

QRからトイレの空き状況を
スマホで確認できます



課題

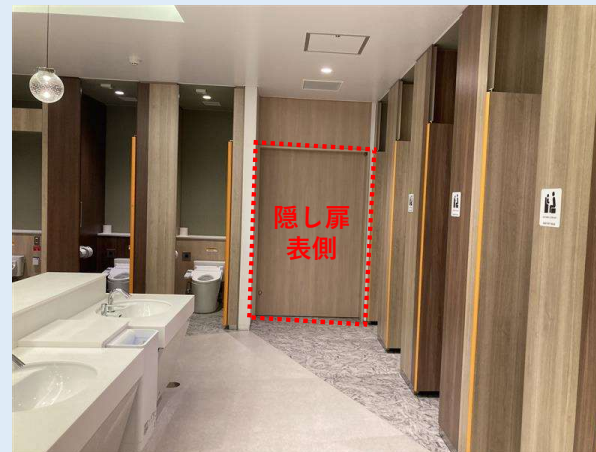
- ・ 年末年始やGWといった来客が集中する繁忙期に、お客様列が発生してしまう状況を踏まえて、対策を検討。

対策

- ①利用者を限定しないトイレを設置。隠し扉の開閉によって運用切り替え。

通常期：従業員用トイレ

繁忙期：お客様用トイレ



- ②近場のトイレのご案内をPOPで実施

対策

国際基準等も踏まえつつ女性用トイレの整備を実施。開幕後も継続的に改善。

①女性用トイレの個室を男性用トイレの3倍以上設置

女性用トイレ	696室
男性用トイレ	223室（参考：小便器420基）

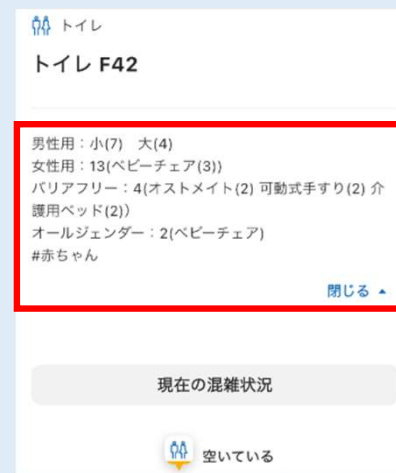
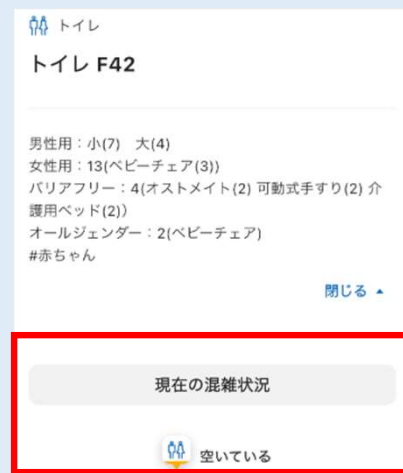
②オールジェンダートイレ等を多数設置

オールジェンダートイレ	108室
バリアフリートイレ	96室

③EXPO2025 Personal Agent上で、トイレの混雑状況や設備等を表示



会場内のトイレごとの混雑状況（一覧、個別）



各トイレの設備



各トイレまでのルート案内

④会場内の混雑状況を踏まえ、利用率向上のための対策を実施

- ・利用率の低いトイレの利用を促進するため、案内表示を設置（順次）
- ・利用率が比較的低い4か所約50室を女性用トイレに転用し、女性用トイレの個室数を拡大（9/27～）

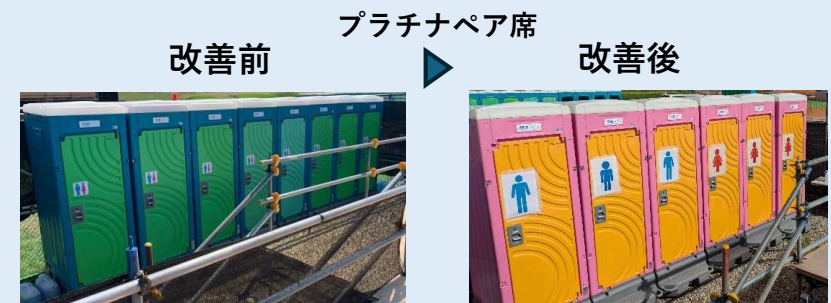
課題

- ・観覧者用トイレについて、男女共有のトイレのみであったところ、女性専用トイレの設置を望む声が多かった。
- ・試験的に男女別の設置を行ったこともあるが、待機列が長く伸びてしまった。
- ・市街地に設置されているトイレの位置を知る手段がなかった。

対策

①花火会場内仮設トイレ設置方法の検討

- ・男性用（小）専用を多く配置することで、当該トイレの回転率を上げ、トイレ全体の混雑を緩和。
（参考）R7年設置個数 男性用（小）：男女共用=151:700
- ・女性専用トイレの設置を望む声が多かったことを踏まえ、プラチナペア席に設置のトイレは、R5年から女性用と男性用を分けて設置。
（男性用12個、女性用16個）



②「大曲の花火マップ」による近隣トイレの可視化

- ・Google mapを活用し、市街地に設置した仮設トイレの場所を公開。 <大曲の花火マップ>



③周辺施設との協力

- ・市役所庁舎や生涯学習施設、体育館などの施設において、屋内常設トイレを来訪者に開放。（特定階の男性用トイレを女性用として使用）

課題

- ・多くの来場者が予想されるところ、イベントを快適に楽しんでもらうため、女性用トイレの混雑対策と利用しやすい環境づくりが求められた。

対策

- ①女性用仮設トイレを男性用仮設トイレの2倍設置。
男女別の手洗場と目隠しパーテーションを設置。



<イベント開催日>

令和7年5月31日（土）

<改善設備概要>

- 仮設トイレ設置（女性用10基、男性用5基）
- 男女別の仮設手洗場設置
- 目隠しパーテーション設置

<イベント実施状況>



自衛隊輸送艦・国土交通省
港湾業務艇の一般公開



巨大な鉄筋コンクリートの箱
「ケーソン」へのお絵かき大会



地元高校マーチングバンド・
自衛隊音楽隊のミニコンサート



キッチンカー等による
グルメエリア

課題

- ①待機時間が長く、自席に戻ることが出来ない苦情多数。
- ②トイレを使用有無の確認が難しく待機列が解消せず苦情多数。
- ③仮設トイレの待機列により花火観覧に支障、苦情多数。

対策

- ①男性小は女性に比べ使用時間が1/2程度。
そのため男性用小トイレを設置し、
男性用小トイレの回転率を上げるとともに、
共用トイレの待機列の軽減を図る。
- ②施錠時の赤色表示が見えにくかったため、
施錠時に表示周辺が点灯するようにトイレを改造、
未使用と使用中の確認が夜間でもできるように改善。
- ③誘導員による案内だけでなく、カラーコーンバーで待機列を
整理することで、観覧席前まで待機列が伸びることを抑制。

<R7実績 トイレの設置状況> 合計766棟中男性用小：92棟
（全体の12％が男性用小）



課題

- ・ 近隣施設である鳴子温泉への外国人観光客が増加。
- ・ それに伴う道の駅への来訪者増加によりトイレ数が不足。
- ・ 女性用トイレ個室で化粧直し利用が混在。

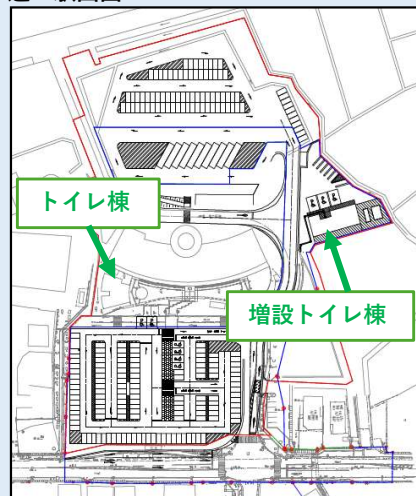
対策

① トイレ棟の増（個室の増設）



トイレ種類		改修前	改修後
男性用	小便器	7	20 (+13)
	大便器	5	10 (+5)
女性用	大便器	12	40 (+28)

道の駅図面



② パウダーコーナーの整備



③ 案内板の英語表記



(その他) パウダーコーナーと個室トイレの導線の分離・明確化

課題

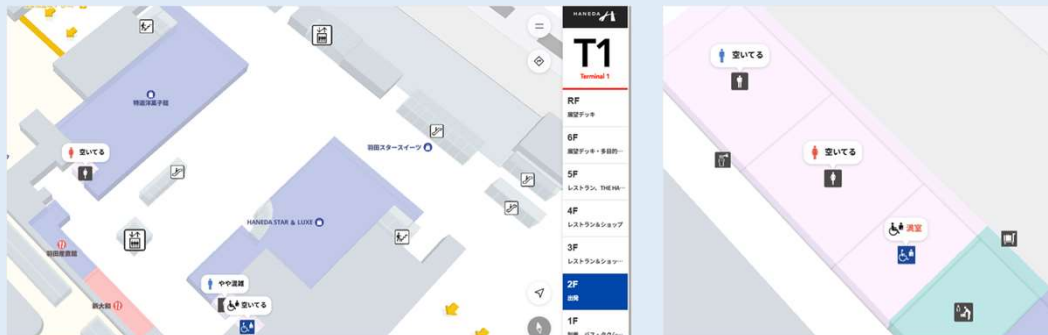
- ・ピーク時間帯（早朝や夕方）を中心に、一部のトイレにおいて女性用トイレ利用者がやや集中。
- ・洗面台付近では手洗い、化粧直し、歯磨き、個室内では着替え等の様々な利用が混在。
⇒ 一部のトイレにおいて女性用トイレ待ちのための列あり。

対策

- ① HANEDA MAPによる混雑確認（2025年6月より導入）
羽田空港公式アプリまたは羽田空港公式ウェブサイトからHANEDA MAPを開き、最寄りや周辺トイレの混雑状況を確認。
（そのほかに、駐車場やPOWER LOUNGEの混雑状況も確認可能）

■ HANEDA MAP

(<https://platinumaps.jp/d/haneda?culture=ja&floor=2F&area=8>)



- ② パウダールーム等の設置（一部トイレ）
個室トイレと別導線にて、更衣室やパウダーコーナーを設けている。



- ③ ハンドドライヤーの増設予定
ハンドドライヤーにおけるボトルネックを解消すべく、T1、T2 2階出発ロビーの全男女トイレに各1台増設予定。

課題

- ・国内線出発ロビー・搭乗待合室付近のトイレにおける混雑（到着・出発客の両者利用ピーク時は特に混雑）。
- ・平常時も満室が断続的に発生し、1～2名が並ぶ状況。

対策

- ①利用者の分散を促すため、混雑トイレから一番近いトイレの位置を示した簡易サインの設置



- ②従業員や警備員による分散利用の案内（他トイレへの誘導）

課題

- ・クルーズターミナルの新設に伴い、トイレを設置。
- ・クルーズターミナルの利用は、対象船舶（最大）12万トン級を想定（乗客定員・乗組員 約3,800人）。
- ・トイレ規模は周辺のクルーズ船寄港岸壁の利用状況を参考に設定。

対策

①ターミナル内にトイレを設置し 女性用トイレを増設

トイレ種類		整備数
男性用	小便器	3
	洋式	2
女性用	洋式	5 (+2)
多目的		1



待合所内部と外側双方からの
動線を確認し、トイレ単独利用が可能

②広く明るい空間



③プライバシーと感染症に配慮 (男性用トイレ小便器)



課題

- ・ターミナル外にあり、場所が分かりにくい
 - ・トイレの個数やスペースの不足
 - ・老朽化しており、きれいではない
 - ・ベビーシートの不足
- 等

対策

①トイレ個室の増設



トイレ種類		改修前	改修後
男性用	小便器	5	7 (+2)
	和式+洋式	3	5 (+2)
女性用	和式+洋式	7	16 (+9)
	多目的	1	2 (+1)

②動線上に配置・サインの設置



③授乳室の設置

(椅子・ベビーシート・
調乳用温水器等)

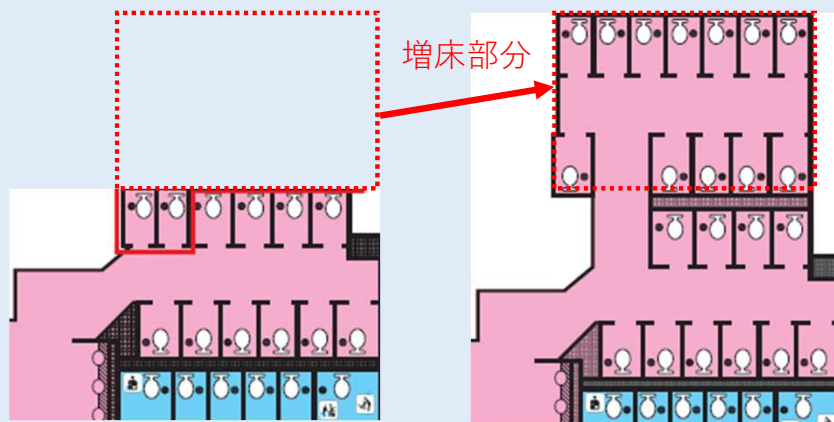


課題

- ・ 関西・大阪万博開催（2025年4月～10月）等に伴い利用者増が見込まれた。

対策

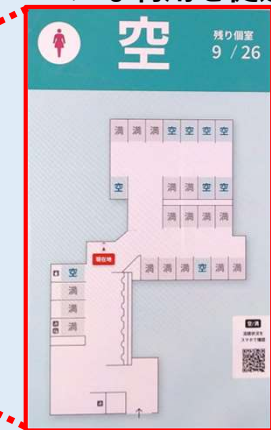
① トイレ個室増設（16個→26個）



② 満空表示モニター設置



先頭者は一目で空室を把握
→スムーズな利用を促進



（①・②の事例は、改札内 3階 在来線乗換口）

③ トイレの混雑状況のリンク先をHP及び新大阪駅X（旧Twitter）にてお知らせ

JR東海HPにて
トイレ混雑状況の
リンク先を掲出

トイレのバリアフリー情報
駅構内のトイレについて、車いす対応・ベビーシート対応の有無・オストメイト対応の状況について表示しています。

設置場所	車いす対応	ベビーシート対応	オストメイト対応	備考
改札内（新幹線）	○	○	○	新幹線改札内トイレ満空情報 https://throne-view.yaman.com/custom/11plq9wX
改札外	○	○	○	

※トイレの位置については、「駅構内図」をご覧ください。

新大阪駅X（旧Twitter）にて
車内のお手洗いを併せてご利用
いただくようご案内



課題

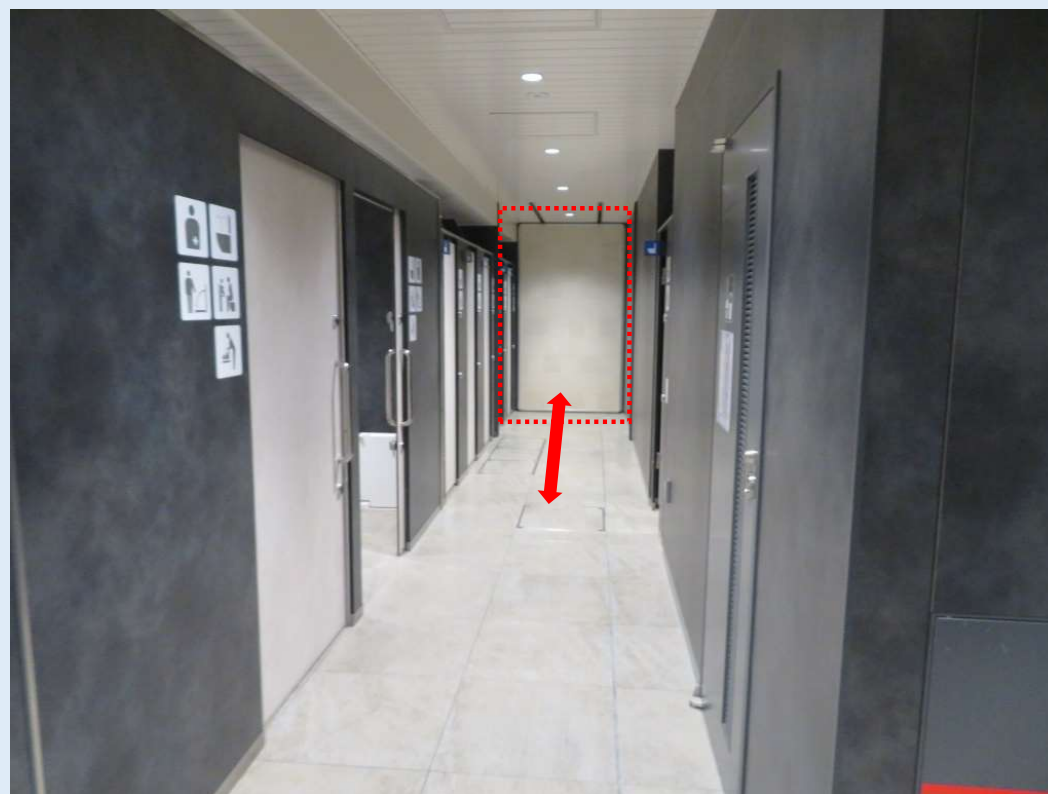
- ・ 時間帯、曜日、イベント開催（近隣駅含む）による、男女の利用比率の変化や
なにわ筋線開業による将来的な男女の利用比率の変化等への対応が求められることが想定された。

対策

個室の男女利用の波動対応として、男女間の境界壁を可動間仕切りとした。



（事例は、改札内 1階 西口トイレ）



課題

- ・ 個室の空き状況が分かりにくい。
- ・ 一部のトイレにお客さまの利用が集中する。

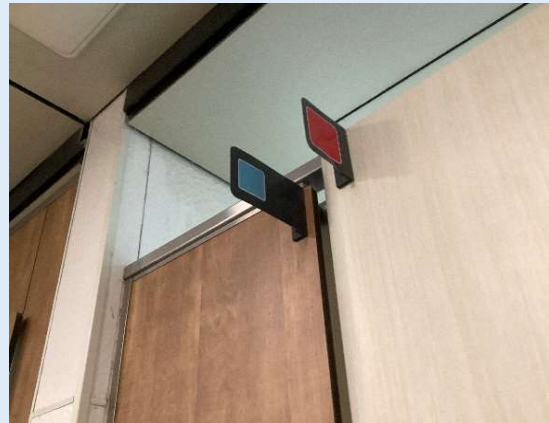
対策

① 個室の空き状況の見える化

- ・ 旗竿式のブース表示を設置



(事例は、八重洲地下中央口改札内、新幹線北のりかえ口改札内)



② 周辺トイレの案内図や利用を促すポスターを掲示



(事例は、丸の内南口改札内)

課題

- ・長時間トイレを利用するお客様により、行列ができています。
- ・トイレの空室状況がわかりにくい。

※ 2023年度 移動等円滑化実績等報告書

対策

① 短時間利用を促進するためのポスター掲示



- ・ご意見の多かった表参道駅に試験設置（2025年7月～）
- ・2025年度渋谷駅、日本橋駅に展開予定
- ・全駅展開は検討中

② プレートによる在室表示（2025年内設置予定）



女性用トイレ



赤青プレートによる在室表示

（事例は、千代田線 地下1階 改札外 B4 出入口付近）

課題

- ・ 駅が開業した当時と比較して利用者数が増加した一方、構造上、増設が容易でないためトイレが不足している。
- ・ 周辺施設及び街ワークショップからの要望。

対策

① トイレ個室の新設

女性用トイレ



男性用トイレ

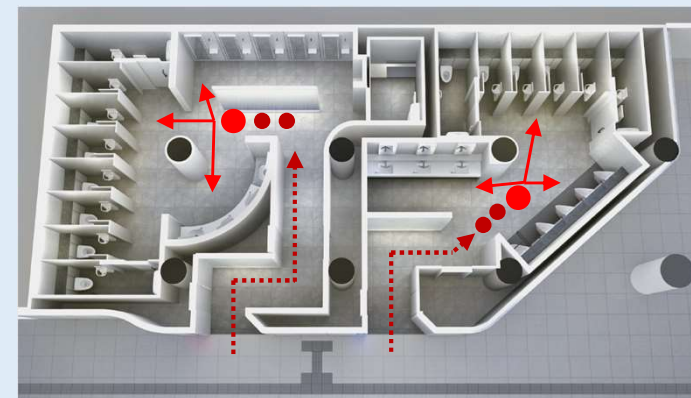


トイレ種類		個数
男性用	小便器	5
	洋式	6
女性用	洋式	8

② パウダーコーナーの整備



③ 空室状況が分かりやすい空間配置



(事例は、銀座線 地下1階 改札外 A7 出入口付近)

課題

- ・ 女性のお客様に快適に利用していただくために、トイレの利便性向上。
- ・ 女性用トイレにて化粧直し、歯磨き、着替え等の様々な利用が可能のように機能を増強及び改良。

対策

①パウダールームの整備

トイレと化粧等の機能分離



②利便性向上

おむつ替え室と授乳室の設置

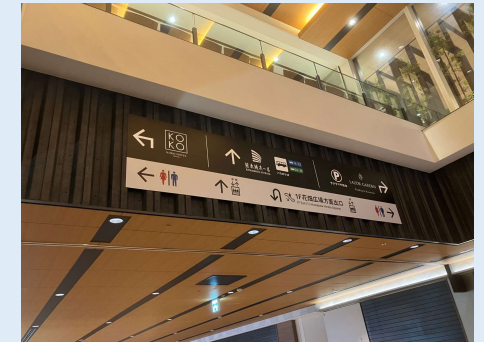


③トレルナ (生理用ナプキン) の無料サービス設置 (2025年5月)



④サインの定期的な見直し

定期的にサインの見直しを実施



(その他) 荷物が多くても入りやすいよう、多目的トイレも設置

課題

- ・朝のピーク時間帯（7-9時）を中心に洋式トイレ利用者が集中。
- ・女性用トイレでは化粧直し、歯磨き、着替え等の様々な利用が混在。
- ・インバウンド旅客に対応する洋式化、案内サインの多言語化が必要。
- ・通路とホームの通り抜けによる利便性の向上。

<改修前の状況>



対策

①トイレの洋式化等

トイレ規模		改修前	改修後
男性	小便器	11	5
	個室	和式：2 洋式：4	和式：0 洋式：5
女性	個室	和式：3 洋式：4	和式：0 洋式：7

- ・ベビーシート・ベビーチェア・フィッティングボード、手荷物置き場の設置
- ・オストメイト対応

②女性用パウダーコーナーの新設



③サインの多言語整備



④通路とホームの通り抜け可能な導線



⑤サイン表示による導線明確化



パウダーコーナーと個室トイレの動線の明確化

トイレ順番待ちのフロアサイン

課題

- ・ 女性用トイレ混雑時において頻発する行列の解消
- ・ 陳腐化した設備の更新や利用頻度の低い和式便器の洋式化対応
- ・ トイレ機能に対する多様化するニーズへの対応

対策

① トイレ個室の増設



トイレ規模		改築前	改築後
男性用	小便器	30	18 (▲12)
	和式+洋式便器	16	14 (▲2)
女性用	和式+洋式便器	40	58 (+18)

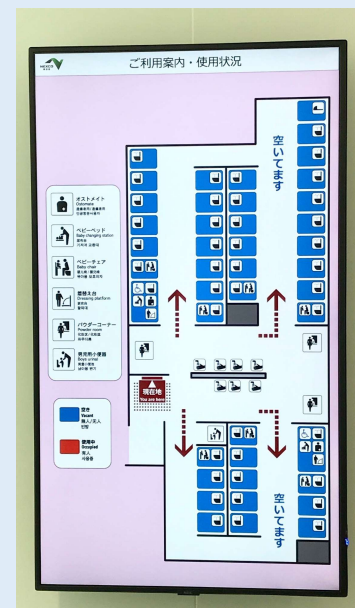
② 必要設備の分散配置 (パウダーコーナー)



(大型ブース (オストメイト))



③ トイレ満空表示 モニターの設置



④ トイレブース使用状況 表示器の設置

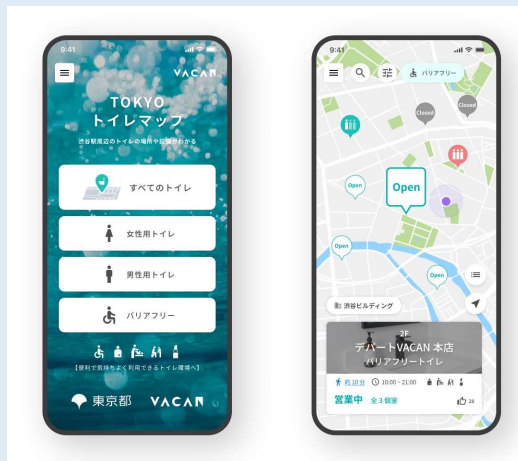


課題

- ・ 外出先において、トイレの場所や設備、空き状況がわからず不安。
- ・ バリアフリートイレ利用時に「行ってみたけど空いていなかった」状況も発生。
⇒必要なときに付近のトイレの位置や利用状況の把握が重要。

対策

- ① マップ型トイレサービスの提供
- ② トイレの設備情報の掲載
(おむつ台の有無やバリアフリートイレの付帯設備など)
- ③ バリアフリートイレの利用状況を可視化
- ④ ユーザーからのフィードバックを収集する機能の搭載
(設備へのコメント等)



外出先で自分の近くのトイレを把握



バリアフリートイレの
人を検知し空き情報を可視化

< 実証期間 >

令和4年11月1日から令和5年1月9日まで

< 掲載データ >

- トイレの設備データ
105施設（商業19/公共86）
個室数 1,221個室（内バリアフリートイレ 54個室）
- バリアフリートイレの混雑データ
(トイレセンサデータ)
- ユーザーの投稿データ

< 掲載施設 >

- 渋谷スクランブルスクエア
- 渋谷ヒカリエ
- 表参道ヒルズ 等



累計ユーザー数：10,111人
※実証期間中の集計値

その他の事例

課題

- ・国際線搭乗待合室内のバリアフリースイートの設置なし。
- ・加齢、病気回復後等において衛生用品を利用する男性が増加傾向にあり、男性用トイレにもサニタリーBOXの設置が必要。
- ・AED及びプライバシー配慮を目的とした救命テントの設置なし。
- ・リチウムイオン電池煙発生時の初動対応処置設備なし。

対策

①既存トイレ横に
バリアフリースイートの新設②男性用トイレに
サニタリーBOXの設置③AED及び救命テントの設置
リチウムイオン電池煙発生時の
初動対応用：耐火バケツの設置

- ※当事者参加の観点より、
公益財団法人香川県身体障害者団体連合会に新設場所の
確認・設置計画に関する協議等に協力を仰ぎ対応。
- ※TOTO株式会社と高松空港株式会社による、共同での
ユニバーサルにも配慮したプランと器具選定を実施した。

課題

- ・ 子供連れの使用者等がバリアフリースイレに集中。
- ・ ピーク時に瞬間的に混む場合がある（長蛇の列ができるほどではない。）。

対策

- ① バリアフリースイレへの使用集中回避のため、
ブース内にベビーチェア・フィッティングボードを設置

（ベビーチェアの設置）



（フィッティングボードの設置）



- ② 電子掲示板による満空表示を設置

